

第21回 夏季大学「新しい気象学」開講のお知らせ

——雲と大気の状態——

主催 日本気象学会

後援 気象庁, 東京都教育委員会, 日本地学教育学会,
(財)日本気象協会

毎年開催し好評を得ております「新しい気象学」を本年も開催します。この講座は、新しい気象学の普及をめざし、主として小・中・高校の地学・理科担当教師を対象として行うものですから、特に教職にある方の多数のご参加を希望いたします。

記

対象 小・中・高校の理科担当教師および気象愛好者を主体とし、その他学生および一般の希望者。

受講料 一般 6,000 円, 教員 5,000 円, 気象学会員・日本地学教育学会員・学生 4,500 円

日時 昭和62年 8月3日(月) 12時(受付開始)
8月6日(木) 14時頃(終了予定)

場所 東京都千代田区大手町1の3の4
気象庁講堂

ただし、台風来襲時には講堂の使用が不能になりますので、会場を他に変更することもあります。

申込先 (〒100) 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁内

日本気象学会事務局

Tel. 03-212-8341 (内線 469)

申込締切 昭和62年 7月20日まで

申込方法 次頁の様式の申込用紙に記入して申し込んで下さい。参加決定次第受講票をお送りします。ただし、定員に達し次第締め切ります。

受講料は、1. 現金書留, 2. 郵便替為, 3. 振替貯金(口座番号 東京3-5958, 加入者名 日本気象学会)のうち適当なものを御利用下さい。

特典 受講者には、講義全内容のテキストを無料配布します。全講義出席者には日本気象学会入会の資格および入会金の免除、学会出版物についての便宜をはかります。

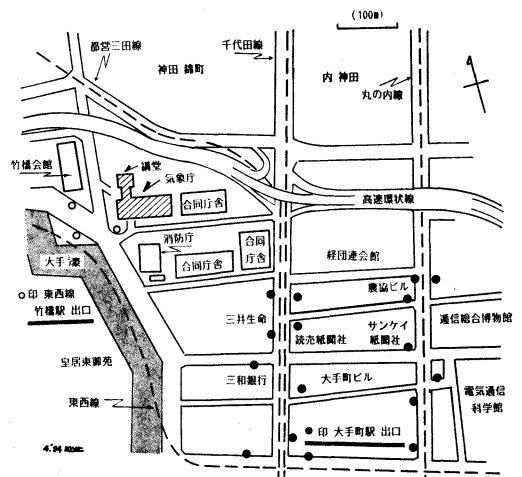
テキスト テキストのみ希望される方は代金を添えて必要部数を申し込んで下さい。1部 1,500 円, 送金方法は受講料の送金方法に準じて下さい。なお、刊行部数が少ないので希望者はできるだけ早めに申し込んで下さい。

●会場への交通

地下鉄 東西線竹橋駅下車

もしくは

地下鉄 千代田線, 丸の内線, 都営三田線
大手町駅下車



第21回 夏季大学「新しい気象学」受講申込書

第21回夏季大学の受講を希望いたしますので申し込みます。

受講料は、1. 現金書留、2. 郵便替為、3. 振替貯金で送りました。

(受講料の送金方法1～3のいずれかを○で囲んで下さい。)

昭和 62 年 月 日

氏 名	年 齢	歳 職 業
自宅住所 (〒)	電 ()	
勤務先等 名 称 連 絡 先 (〒)	電 ()	
所属学会		

.....切 取 線.....

講 義 時 間 表

	午前 (10時～12時)	午後 (13時～15時)
8月3日 (月曜日)	—————	雲の観測 松原廣司 (気象庁測候課) 雲は日射をさえぎり、雪や雨を降らせる。雲の観測は日々の気象解析や気候の調査に利用される。雲の観測方法を事例をあげて解説する。
8月4日 (火曜日)	雲の形は何が決める？ 木村竜二 (東大・海洋研) 雲形は千差万別のように見えるが、それなりの理由がある。流体力学の視点から説明を試みる。地球から見た雲と宇宙から見た雲の比較も行う。	雲と雨はこうして作られる 松尾敬世 (気象研究所) 雲が生まれ、そこから雨や雪などが降ってくる。雲や雨の一生についてのお話。雲や雨の物理学。
8月5日 (水曜日)	天気図から見た雲 足立 崇 (気象大学校) 天気予報の基礎となる広域の雲の分布・発生及び消滅は、天気図からどのようにして、また、どの程度読み取れるのか？	天気図による雲の解析 足立 崇 (他) 午前中の講義をもとにして、天気図から実際に雲の分布の解析や今後の予測を行ってみる。
8月6日 (木曜日)	エルニーニョと異常気象 新田 勲 (気象研究所) 熱帯地方の海洋と大気の変動が、世界各地の天候現象にどのような影響を与えているか、その実態とメカニズムを探る。	映画 1. 「雲と天気」 2. 「雨や雲のでき方」

火曜日または水曜日15時から気象庁見学の予定。